

## ＜ギデオン協会＞

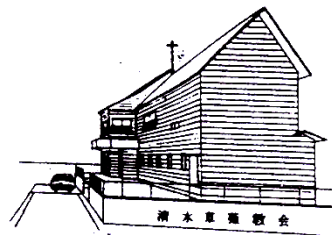
【歴史】1898年秋、北米ウィスコンシン州ボスコベルの小さなホテルで、見知らぬ青年同志（ジョン・H・ニコルソン、サムエル・E・ヒル）が偶然相部屋で夜を明かしたとき、お互いにクリスチャンであることを証し、相共に聖書を読み、祈ったことから発会計画がなされた。1899年5月発会式をしたが、その後参加したのは、ウィル・J・ナイツただ1人であった。この3名によって、クリスチャンで旅行する実業家達が互いに交わり、個人的に立証し、相共に主イエスのために労しようとの決意が表明され、旧約聖書士師記6章、7章にあるギデオンにあやかって、会の名称を“ギデオン”（The Gideons）と定めた。1911年カナダが参加することによって、“国際ギデオン”と呼ばれるようになった。日本にこの働きが及んだのは、1950年で国際代表としてR・J・ホルツワース兄が派遣され、9月1日に東京支部がつくられたのが始まりである。当時は主として、全国の大学生40万人に1冊ずつ聖書を差し上げることを目標として発足したのである。

【牧師招待会】ギデオンのメンバーは、それぞれが、いろいろの教会から集まった教会の担い手です。会員は、教会でも重要な働きを担いつつ、聖書配布の働きを物心両面からしていることとなります。また、もう一つの原則があって“教会に負担をかけない”ということです。ですから“今日は聖書配布を行いますから、近くの教会の姉妹の参加を求めます”というようなアピールはしません。“地域の教会が、聖書に触れた人々を招くことを祈ります”。働きの一つに、これは世界的にそうなのですが“牧師を招待し、例えば年に一度、愛餐の時と報告の時を持つ”ことを恒例にしています。教会からは独立していますが、教会が生み出した働きと言えます。日本国際ギデオン協会日本支部の静岡での牧師招待会は、7月15日に行われました。10教会程の牧師が招待されましたが、草薙からも出席しました。

【大切な働き】招待会の会場では、いろいろの会話がありますが、面白いのは、個人の消息です。今年召された若林姉のお話や、8月に礼拝に集って下さいます、宮原兄の話も、懐かしそうに話されます。初めての方には、“むかしの話”、“知らないこと”なのですが、10年も草薙にいて、初めて耳にする話が沢山あります。このような情報はとても大切で、その大切さは聖書を見れば分かる通りです。出来事の確かさを保証するのに、沢山の固有名詞が出てきます。働きというのが、漠然とした教会とか、団体が行うのではなく、側に属する、固有名詞を持つ個人によって支えられていることがよく分かります。YMCA、YWCA、救世軍活動、キリスト教主義の学校や病院、宣教団体、福祉団体など、これらをパラチャーチということがあります。みな記念する働き人を持っていることに気付きます。

# 週報

2011年 7月 31日



伝えよう 救い主を  
迎えよう 主の民を

日本フリーメソジスト

## 清水草薙キリスト教会

牧師 村上 定幸

ユース礼拝	毎日曜日	午前 9:00
礼拝式	毎日曜日	午前 10:30
	(聖餐式 第一日曜日)	
夕礼拝式	毎日曜日	午後 7:00
エステル一会	毎水曜日	午前 10:30
聖書研究祈禱会	毎水曜日	午後 7:00
ホームページ	<a href="http://kusanagi.church.jp/">http://kusanagi.church.jp/</a>	

〒424-0885

静岡市清水区草薙杉道3丁目2-26

☎054-345-4070 E-Mail [grace@big.jp](mailto:grace@big.jp)

振替口座 00890-6-214042